

高木啓行(たかぎ・ひろゆき)氏(信州大学)が2017年11月25日に逝去された。享年54歳。専門は関数解析学。

訳書に『フーリエ解析入門』『複素解析』『実解析』(いずれも日本評論社)がある。

福富節男(ふくとみ・せつお)氏が2017年12月18日に逝去された。享年98歳。専門は位相幾何学。

戦後の「日本数学会」設立に尽力し、『数学辞典』(岩波書店)の編集に携わった。また、社会運動家としても知られている。

小誌では、巻頭言「'完全系列'という言葉」などをご執筆いただいた。

飛田武幸(ひだ・たけゆき)氏(名古屋大学・名城大学名誉教授)が2017年12月29日に逝去された。享年90歳。専門は確率論。

著訳書に『確率論の基礎と発展』(共立出版),『誤差論』(紀伊國屋書店),『一確率論研究者の回想』(岩波書店)などがある。

小誌では、1960年代からご登場いただき、連載「時空と偶然」などをご執筆いただいた。

横田一郎(よこた・いちろう)氏(信州大学名誉教授)が11月10日に逝去された。享年91歳。専門は幾何学。

著書に『群と表現』『群と位相』(裳華房),『多様体とモース理論』(現代数学社)などがある。

ウラジーミル・ヴォエヴォドスキー(Vladimir Voevodsky)氏(プリンストン高等研究所)が9月30日に逝去された。享年51歳。専門はホモトピー理論。

2002年に「代数多様体のホモトピー理論を進展させ、モチーフコホモロジーを作成した顕著な業績」によりフィールズ賞を受賞した。

マリyam・ミルザハニ(Maryam Mirzakhani)氏(スタンフォード大学教授)が7月15日に逝去された。享年40歳。専門はタイヒミュラー理論(英語版)、双曲幾何学、エルゴード理論、シンプレクティック幾何学。

2014年に「リーマン面とそのモジュライ空間の力学と幾何学に関する顕著な業績」によりフィールズ賞を受賞した。

野口広(のぐち・ひろし)氏(早稲田大学名誉教授)5月31日に逝去された。享年91歳。専門は位相幾何学。あやとりの普及活動でも知られている。

著書に、『トポロジー 基礎と方法』,『エキゾチックな球面』(ちくま学芸文庫)など多数ある。

小誌では、創刊当初から数多くの記事をご執筆いただいた。

竹内外史(たけうち・がいし)氏(イリノイ大学名誉教授)が5月10日に老衰により逝去された。享年91歳。専門は数学基礎論。

日本における数学基礎論をリードし続け、「解析学の基礎付けなど数学基礎論における諸

研究」により、1981年に朝日賞を受賞している。

著書に、『現代集合論入門』、『層・圏・トポス』(日本評論社)、『証明論入門』(共著、共立出版)など多数ある。

小誌では、創刊当初から数多くの記事をご執筆いただいた。

森正武(もり・まさたけ)氏(京都大学・筑波大学名誉教授)が2月24日に逝去された。享年79歳。専門は数値解析学。

著書に『数値解析』(共立出版)、『曲線と曲面』(教育出版)、『数値解析と複素関数論』(筑摩書房)、『有限要素法とその応用』(岩波書店)などがある。

桑垣煥(くわがき・あきら)氏(京都府立医科大学名誉教授)が3月4日に逝去された。享年96歳。専門は函数方程式論。

著書に『函数方程式概論』(朝倉書店)、『詳説演習 微分方程式』(共著、培風館)がある。小誌では、1970年代よりご登場いただき、主にパズルの話題を紹介いただいた。

長野正(ながの・ただし)氏(元・上智大学)が2月1日に逝去された。享年87歳。専門は微分幾何学。

著書に『曲面の数学』(培風館)がある。

小誌では、1960年代からご登場いただき、連載「内積と外積と」(1995年11月～1996年10月)などを担当いただいた。

レイモンド・メリル・スマリヤン(Raymond Merrill Smullyan)氏(インディアナ大学名誉教授)が2月6日に逝去された。享年97歳。専門は数理論理学。

数学パズルや論理パズルに関して多くの書物を著しており、邦訳された著書に『この本の名は?』(日本評論社)、『スマリヤンの究極の論理パズル』(白揚社)などがある。

イゴール・ロスチスラヴォヴィッチ・シャファレヴィッチ(Igor Rostislavovich Shafarevich)氏(ソビエト(現・ロシア)科学アカデミー)が2月19日逝去された。享年93歳。専門は代数学。

ロシアを代表する代数学者の一人で、数多くの教科書を執筆したことで知られる。

邦訳されたものに『整数論 上・下』(共著、吉岡書店)、『代数学とは何か』(丸善出版)、『代数入門』(日本評論社)などがある。